













サステナビリティ推進

2023 年度から 2025 年度の活動結果

PFU では、リコグループのマテリアリティ（重要社会課題）のうち、「はたらくの変革」「脱炭素社会の実現」「循環型社会の実現」「責任あるビジネスプロセスの構築」「多様な人材の活躍」に係る ESG 目標(2023 年度～2025 年度)を設定し取り組みました。2025 年度は、3 か年計画の最終年として 17 の ESG 目標の達成に取り組みました。

マテリアリティ	ESG 指標	2023 年度 実績	2024 年度 実績	2025 年度 実績			
事業を通じた社会課題解決	“はたらく” の変革 高い付加価値でお客様の業務効率化に貢献する ハイエンドスキャナーの販売台数 (fi シリーズ：グローバル販売台数)  	369,824 台	327,204 台	342,369 台			
		GHG 排出量 Scope1,2 削減率 (2015 年度比)  	5,126t-CO ₂ (41.4%減)	2,059t-CO ₂ (76.5%減)	1,940t-CO ₂ (77.9%減)		
	脱炭素社会 の実現	GHG 排出量 Scope3 削減 率  	国際エネルギースター プログラム適合	スキャナー製品	適合 100% (3 製品)	適合 100% (1 機種)	適合 100% (3 機種)
			米国 EPEAT 取得 対応	スキャナー製品	適合 100% (3 製品)	適合 100% (1 機種)	適合 100% (2 機種)
		製品環境性能指数	組込みコンピューティング製品	4.01	3.82	—	
			情報 KIOSK 端末	14.36	11.276	10.350	
			ネットワークアライアンス製品	0.537	0.555	0.593	
			セキュリティ製品	0.256	0.254	0.252	
		製品導入による 顧客先環境貢献量	組込みコンピューティング製品	9,465t-CO ₂	10,598t-CO ₂	—	
			情報 KIOSK 端末	1,732t-CO ₂	1,367t-CO ₂	811t-CO ₂	
			ネットワークアライアンス製品	339.6t-CO ₂	340.8t-CO ₂	322.1t-CO ₂	
			セキュリティ製品	660.3t-CO ₂	652.71t-CO ₂	633.5t-CO ₂	
	環境配慮ソリューション による顧客先環境貢献	ドキュメント	1,295.1t-CO ₂	1,093.6t-CO ₂	1,034.9t-CO ₂		
		ソリューション	5,977t-CO ₂	6,108.1t-CO ₂	5,678t-CO ₂		
	循環型社会 の実現	製品の新規資源 使用率 	新規資源使用率	スキャナー製品	95.6%	95.3%	92.3%
			化石資源由来バージン プラスチックの包装材 削減率 (2020 年度比)	スキャナー/キーボード製品	22.5%減	31.0%減	39.4%
	経営基盤の強化	責任ある ビジネスプロセ スの構築	CHRB スコア	RBA-SAQ スコア	 	89.6%	91.9%
ICT セクター評価							
多様な人材 の活躍		エンゲージメントスコア	 	3.57	3.67	3.67	
	女性管理職比率	 	8.4%	8.6%	9.3%		

2026 年度から 2030 年度の活動計画

リコーグループは、目指すべき持続可能な社会の姿を、経済(Prosperity)・社会(People)・地球環境(Planet)の 3つの P のバランスが保たれている社会「Three Ps Balance」として表しています。この目指すべき社会の実現に向け、経営理念・中期経営戦略・ステークホルダーからの期待を反映したマテリアリティを特定し、中期経営戦略の策定に合わせ見直し、設定しています。





リコーグループが取り組む 6 つのマテリアリティ



マテリアリティ		社会課題
Prosperity (持続可能な経済)	“はたらく”の変革	生産性向上・創造性発揮・デジタル格差の解消 イノベーションの加速
	安心安全なデジタル社会の実現	情報セキュリティ確保・顧客のプライバシー保護 倫理的な技術開発と活用
	公正な企業活動	人権尊重 企業倫理・コンプライアンスの徹底
People (持続可能な社会)	多様な人材の活躍	社員エンゲージメント向上と D&I 社員の能力開発
	コミュニティとの共生	企業と地域社会の関係構築
Planet (持続可能な地球環境)	脱炭素・循環型社会の実現	気候変動の緩和と適応
		資源枯渇・資源循環

PFU ESG 目標

PFU では、リコーグループの6つのマテリアリティのうち、「“はたらく”の変革」「多様な人材の活躍」「脱炭素・循環型社会の実現」に係る ESG 目標（2026～2030 年度）を設定しました。

マテリアリティ	社会課題	ESG 目標							
		指標	2026 年度 目標	2027 年度 目標	2028 年度 目標	2029 年度 目標	2030 年度 目標		
Prosperity (持続可能な 経済)	“はたらく”の 変革 	イノベーションの加速	“はたらく”の変革に通じる商材・サービス提供数	目標値確定後に更新予定					
		社員エンゲージメント向上と D&I	エンゲージメントスコア						
People (持続可能な 社会)	多様な人材の活躍 	女性管理職比率							
		Planet (持続可能な 地球環境)	脱炭素・ 循環型社 会の実現 	気候変動の緩和と適応	GHG スコープ 1/2 削減率 (2015 年度比)	77%減	78%減	79%減	79%減
GHG スコープ 3 削減率 (2015 年度比)	45%減	46%減		47%減	48%減	50%減			
	資源枯渇/資源循環 	製品の新規資源使用率	91.1%	90.1%	85.9%	85.7%	85.7%		
		化石資源由来バージンプラスチックの包装材料削減率 (2020 年度比)	44.0%減	48.0%減	71.8%減	71.1%減	71.2%減		

カーボンニュートラル

PFU では、2050 年までに温室効果ガス（GHG）排出のネットゼロを達成することを目指しています。短期目標である 2030 年までのスコープ 1,2,3 排出量削減および長期目標である 2040 年までのスコープ 1,2 排出量削減と合わせて、2040 年までに事業活動で使用する電力の再生可能エネルギー比率 100%達成を掲げ、脱炭素化の取り組みを強化しています。

■ Scope1、Scope2 の取り組み

PFU では、継続した省エネを推進しながら、再生可能エネルギーの導入も進めています。地球の気温上昇を 1.5℃未満に抑える水準と整合した削減目標を 2030 年度目標に掲げています。

■ Scope3 の取り組み

調達・輸送・使用など事業活動の上流から下流までを含めたサプライチェーン全体での CO₂ 排出量削減が求められています。

PFU では、排出比率の大きい「購入した製品・サービス（カテゴリ-1）」、「輸送、配送（上流）（カテゴリ-4）」、「販売した製品の使用（カテゴリ-11）」の 3 つのカテゴリに注目した削減目標を 2030 年度目標に掲げています。

■ 再生可能エネルギー普及拡大への取り組み

PFU では、RE100(注 1)に参加しているリコーグループの一員として社会全体の再生可能エネルギーの普及拡大に貢献しています。2025 年度の再生可能エネルギー由来の電力量は 7,284MWh です。

(注 1)RE100 は、The Climate Group が CDP とのパートナーシップのもとで主催しています。日本では 2017 年 4 月より日本気候リーダーズ・パートナーシップ（JCLP）が地域パートナーとして、日本企業の参加を支援しています。



再エネ電力供給証明書

PFU 脱炭素目標

		2030 年度目標	2040 年度目標	2050 年度目標	
GHG 削減量	Scope1、Scope2	2015 年度比 80%削減	2015 年度比 90%削減 実質排出ゼロ	2015 年度比 90%以上削減	Scope1,2,3 ネットゼロ
	Scope3	2015 年度比 50%削減 (調達・輸送・使用カテゴリ)	2015 年度比 65%削減 (全カテゴリ)	2015 年度比 90%削減 (全カテゴリ)	
再生可能エネルギー比率		85%	100%	——	